

競争的資金等に係る事務処理手続に関するルールへの対応について

1 対象となる競争的研究費等（委託研究課題）

- ・「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」（委託元：○○○○○○○）

2 上記課題の事務処理手続に関するルールについて、以下の観点から見直しを行い、明確かつ統一的な運用を図る。

なお、当社において、上記ルールに該当するものは次のとおり。

社内ルール	○○○○○○○○○○○○
社外ルール	○○○○○○○○○○○○
上記を取り纏めたルール	○○○○○○○○○○○○

- (1) 社内ルールと委託研究課題の運用の実態が乖離していないか、適切なチェック体制が保持できるか等の観点から点検し、必要に応じて見直しを行う。
- (2) 可能な限りルールの統一を図る。
- (3) 当社の構成員に周知する。

3 ○○○○年度においては、統括管理責任者は、競争的研究費等に係る事務処理について、以下の点から検証等を行い、実施結果を取り纏め（様式1）、問題があれば指導・修正等を行う。

内容	視点
○○○○○の検証（サンプリングチェック）	例 ①ルールと運用の実態が乖離していないか、②適切なチェック体制が保持できるか、③ルールの統一が図れているかなど
ルールの周知	例 当社構成員に対し、ルールの存在・保管場所等を、半期に一度社内メール等で周知など

○年○月○日 統括管理責任者

(様式1)

ルールの明確化・統一化に係る対応計画の実施状況（〇〇年度）

内容	視点	実施時期	実施結果（指導内容）
〇〇規程の検証 （サンプルリングチェック）	例 ①ルールと運用の実態が乖離していないか	〇月〇日	
	例 ②適切なチェック体制が保持できるか	〇月〇日	
	例 ③会社としてルールの統一が図れているか	〇月〇日	
	例 ④ルールの解釈が部門間で統一的運用が図れているか	〇月〇日	
ルールの周知	例 該当する構成員に対し、ルールの存在・保管場所等を、半期に一度メール等で周知徹底	1回目 ◇月◇日	周知方法、周知内容などを記載
		2回目 △月△日	周知方法、周知内容などを記載

*コンプライアンス教育・啓発活動等において共有・周知すべき内容

有・無	有の場合の内容